



ダリア：花言葉は「優雅」「気品」「華麗」

一生勉強 一生感動 一生青春 (第80号)

十月に今年度のサークル活動発表会が、十月二十二日(水)の午後、サークル活動の発表会が行われます。今回の発表会は、「サークルの魅力」を伝えるべく、コンセプトとしておこないます。また、この発表会で新会員の募集もできるような、会員外からの参加も歓迎します。そこで、キヤッチフレーズを「サークルの楽しさ、ちよつとのぞいてみませんか」にする予定です。現在、澤村副会長を中心に、パネル展示、映像、および実演による日頃の

福井いきいき会新聞

2025年9月1日 発行:福井いきいき会  
福井市中央1-9-29 : 0776-28-6464  
発行責任者 吉岡会長

サークル活動の発表内容や時間調整などをおこなって、表は、正式なプログラムのおこなわれる予定です。当新聞では、来月十月号でプログラムの詳細を報告をいたします。

県のシニアチャレンジ応援事業に、当いきいき会から四件が認可。

今年度の県の題記の事業に、(一)芸能クラブ、(二)いきいき会(広報関係)、(三)いきいき会(広報関係)、(四)チャレンジパソコン倶楽部の四つを応募して、いきました。今月までに、芸能クラブは、各所での公演にかかわる諸費用を、写真クラブは、撮影旅行や写真バムの作成、展示会などの諸費用を、いきいき会、の広報関係では、新会員の募集、新聞広告や新会員の募集、新聞の諸費用を、パソコ資料の費用を、各種ソフトや可いたいただいた補助金で、うことになつていきます。

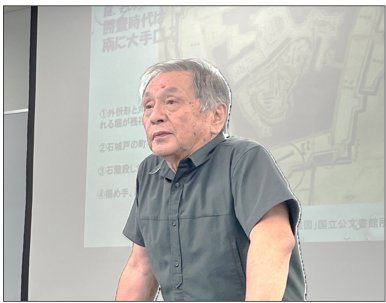
八月例会講演の概要 「福井の城あれこれ話 丸岡城天守は、いつ作られたのか？」 講師 福井工大 吉田 純二教授

今回の講演では、丸岡城の天守がどのように建てられたか、またその年代や建築様式に関する知見など、講師の研究結果が発表されました。

講演の最初に、建物を造る際の職人の組織について触れられました。古来、建築には木・石・土・屋根工・建具職人など多くの職人が関わりますが、それらを統括し全体の工事を取りまとめる役割を担っていたのが「大工」でした。大工は単なる作業者ではなく、多様な職人をまとめる匠であり、高度な技術と指導力を持つ存在だったと語ります。

このことは、城や大規模建築がどのように組織され、完成したのかを考える上で重要であります。丸岡城は福井藩ゆかりの城で、昭和二十三年の地震により一度倒壊したものの、その後再建され、現在も重要文化財として残っています。

従来、丸岡城は、現存する江戸時代以前の天守のある城十二の中で最も古き、



講演中の吉田教授

一五七六年に柴田勝家の甥である一豊によつて建てられたと考えられてきました。しかし、この通説は、古い建築形式を基にした推定だったとそうです。坂井市が、丸岡城を国宝にしようとして、岡城を国宝にした時、最古である証拠を固めようとして、年輪年代法や放射性炭素測定などの科学的手法で建設時期を確認したところ、柱に使用された木材は、一六二〇年ごろのもので、通説より約五〇年以上も後に作られた可能性が高いことが明らかとなりました。さらには、柱の一部分に書かれていた墨書から、一六二四年頃(寛永元年)に書かれたことが確認されました。昭和十五年(一九四〇年)に設置されたことも確認されました。昭和十五年(一九四〇年)に行われた解体修理の記録や現場監督の写真資料を照合すること、設置の経緯や施工者の技法も明らかになり、

丸岡城の天守が江戸初期の安定した時代における象徴的な建築として整備されたことがわかったと語ります。

このことは、丸岡城が単なる防御施設としてではなく、藩の権威や象徴を示す建築として設計されていたことを示唆しています。丸岡城の建築様式についても重要な発見があり、江戸時代後期に一般化した五重塔型の重層屋根構造とは異なり、大きな屋根根の上には小さな屋根(望楼)が載る古い形式を持つことがわかりました。この形式は、犬山城などと共通する古式の建築手法であり、戦国時代の末期から江戸初期にかけての建築の特色を今に伝えています。また、城の配置や堀の構造からも、丸岡城の防御機能よりも象徴性を重視した設計思想が見えてきました。内堀や外堀の形状、城門の配置などから、江戸初期の安定期において城の天守は平和の象徴として建設され、外観の美しさや優雅さが重視されていたと考えられます。

今回の調査で、「最古の天守」という通説は否定され、成立や統治の象徴としての建設された背景を理解する上で意義深い発見となりました。

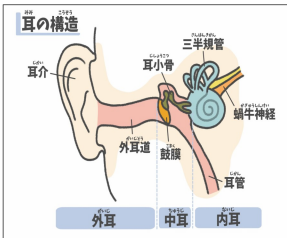
令和7年9月の行事予定表

| 日  | 曜日 | 活動場所        | 開始時間         | 行 事 名     |
|----|----|-------------|--------------|-----------|
| 1  | 月  | B           | 13:00        | 合唱サークル    |
| 2  | 火  | Aマ          | 13:00        | 映画鑑賞会(洋画) |
| 3  | 水  | B           | 13:15        | チャレンジパソコン |
| 4  | 木  | B           | 10:30        | ことのは 朗読会  |
|    |    | B           | 13:00        | 囲碁将棋      |
| 5  | 金  | Aマ          | 13:00        | よろず討論会    |
| 6  | 土  | Aマ          | 13:00        | 卓球を楽しむ会   |
| 7  | 日  | Aマ          |              |           |
| 8  | 月  | 市体育館        | 13:00        | ピンボンの会    |
|    |    | B           | 13:15        | 新聞記事を読む会  |
| 9  | 火  | Aマ          | 13:00        | 運営委員会     |
| 10 | 水  | B           | 13:15        | チャレンジパソコン |
| 11 | 木  | B           | 13:00        | 囲碁将棋      |
| 12 | 金  | Aマ          | 13:15        | 世界遺産を観る会  |
| 13 | 土  | Aマ          | 13:00        | 私の健康法     |
| 14 | 日  | Aマ          |              |           |
| 15 | 月  | B           | 13:00        | 短歌の会      |
|    |    | 別会場         | 11:00        | 手作りの会     |
|    |    | コートダジュール    | 13:00        | カラオケうた会   |
| 16 | 火  | Aマ          | B 10:00      | おしゃべりサロン  |
|    |    | B           | 13:15        | 映画鑑賞会(邦画) |
|    |    | 市体育館        | 13:00        | ピンボンの会    |
| 17 | 水  | アオッサ6FレクA   | 13:30        | うたのサロン    |
|    |    | B           | 10:30        | 有望投資株討論会  |
| 18 | 木  | B           | 13:15        | 私の趣味      |
|    |    | ハビリン4F      | 13:30        | 芸能クラブ     |
| 19 | 金  | Aマ          | 市体育館 B 13:00 | ピンボンの会    |
|    |    | B           | 13:15        | チャレンジパソコン |
| 20 | 土  | Aマ          | B 10:15      | 写真クラブ     |
|    |    | B           | 13:00        | 川柳同好会     |
| 21 | 日  | Aマ          |              |           |
| 22 | 月  | B           | 13:15        | 新聞記事を読む会  |
| 23 | 火  | Aマ          | B 13:00      | 音楽鑑賞会     |
| 24 | 水  | B           | 13:15        | 易しい科学     |
| 25 | 木  | アオッサ706,707 | 13:00        | 例会        |
| 26 | 金  | Aマ          | B 13:00      | 囲碁将棋      |
|    |    | ハビリン4F      | 13:30        | 夜明けの会     |
| 27 | 土  | Aマ          | B 10:15      | チャレンジパソコン |
|    |    | B           | 13:15        | 気軽にカラオケ   |
| 28 | 日  | Aマ          |              |           |
| 29 | 月  | 市体育館        | 13:00        | ピンボンの会    |
| 30 | 火  | Aマ          | ハビリン4F 13:30 | 芸能クラブ     |

Aマは3階A室で健康マージャン 13時から

映画鑑賞会

九月五日(火)は、洋画で、「メリーポピンズ」を、九月十六(火)は、邦画で、松本清張作サスペンス映画「ゼロの焦点」を、佐々木さんの担当で、上映します。



耳の仕組み

令和七年九月の行事予定 例会講演 「身近な事故と保険、スポーツバンザイ」 講師 高橋秀和氏(会員)

交通事故後の補償と手続きの専門家として活躍してこられた講師が、多くの事故例や、損害評価、交渉、支払いなど、保険をかける意義などをお話しされます。また、大リーグや大相撲など、スポーツ観戦の醍醐味について話されます。

易しい科学の話 「高齢者はなぜ耳が遠くなる?」 補聴器の話」 講師 吉岡 芳夫

年を重ねると、テレビの音や、人の話が聞き取りにくくなったりします。これは、「加齢性難聴」です。実は耳の中には、小さな「有毛細胞」という細胞が音を感知する働きをしていますが、年をとるとこの細胞が少しづつ傷んでしまい、特に高い音から聞こえにくくなつてきます。では、どうすればいいのでしょうか? そんなお話をしますので、どうぞ聴講にお出下さい。



ヴェネチアのリアルト橋

世界遺産を観る会 主宰 松島 成美

イタリアのベネチアとナポリの歴史地区へ行きます。ベネチアは「水の都」と呼ばれ、運河に囲まれた独特の都市景観とサン・マル



那谷寺の秋

写真クラブ 主宰 吉岡 芳夫

毎月のサークルでは、前月に撮った写真、懐かしい写真を大スクリーンで鑑賞しています。秋には、撮影旅行も開催。十月の発表会では、メンバーの写真を展

カラオケうた会 主宰者 小林 博

開催場所を、カラオケ喫茶ポプラの樹から、コートダジュール大願寺店に変更したので、ご注意ください。

私の趣味 主宰 吉岡 芳夫

七月に好評だったグルメの趣味を紹介しましょう。

チャレンジパソコン 講師 吉岡 芳夫

九月三日(水)と十日(水)は、ワードの五、六回目、九月十九日(金)は、エクセルの五、六回目です。



来事や考えを書いて、八百文字のエッセイにしてと指示すると、たちどころにエッセイが書ける。それが誠に当を得た文章になっている。パソコンの中に、まるで天才の人のいるのではないかと、思うほどである。

私は、次のように指示して、エッセイを書かせてみた。「高齢者の会。パソコン教室。生成AIを学んだ。単語をいくつか書くだけで、きれいな絵が描ける。エッセイを書いてくれる。作曲をしてくれる。高齢者でも楽しめる。こんな楽しみを多く的高齢者に味わってもらいたい。これを八百文字のエッセイにして。チャットGPTは、たちどころに次のようなエッセイを書いてくれた。

「私が通っている高齢者の会では、健康づくりや趣味の活動だけでなく、最近ではパソコン教室にも力を入れています。年齢を重ねると、新しいことを学ぶのは少し勇気が要りますが、仲間と



吉岡 芳夫氏

一緒に組めます。特に話題になっていないのが「生成AI」です。最初は名前を聞いただけで、実際に使ってみると、想像以上身近で面白いものでした。例えば、絵を描く機能です。自分では絵筆を持つのも久しぶりでした。が、パソコンに「夕暮れ海」という言葉を入力するだけで、美しい絵がすぐ現れるのです。まるで画家に弾みました。また、エッセイも同じです。「旅の思い出を書いてほしい」と頼めば、短い文章がたちまち整った形で仕上がります。自分の思いをどう表現すればよいかわからないときにも、大きな助けになります。

さらに驚いたのは作曲です。音符を並べたり、雰囲気指定したりするだけで、耳に心地よいメロディが流れてきます。ピアノもギターも弾けない私ですが、自分だけの音楽ができる、胸が膨らみます。

これなら楽器に不慣れた高齢者でも、音楽の世界を楽しむことができます。

うのは、生成AIは決して思っているだけの道具ではないというだけです。私たち高

川柳同好会  
八月の優秀句

台風よ雨を背負って  
焔にこい  
高谷三恵子

今日もまた腰あ手散歩  
痛み取れ  
尾野 忠男

目が覚める朝のあいさつ  
「暑い暑い」  
新田ヨシエ

家庭味差し入れ嬉し  
嫁の味  
吉田美恵子

百歳とまっぴら御免  
お断り  
中野ふさゑ

我が食事長めで見れば  
偏ってる  
上坂 征夫

Aーにすべてをまかせる  
日が来そう  
吉岡 芳夫

ガザ地区の餓死の  
リアルに言葉無し  
澤村 玲子

おやつ食べ犬寄り来れば  
不味い顔  
山田 良彦

体調の判断まよい  
#7119  
尾野フミ子

連日の猛暑に動きが  
鈍くなる  
南部 歳子

マイウエイあれこれ  
聞くとマイペース  
小坂 武士

盆櫓土煙りまい  
足袋黒し  
藤みや子

冤罪の計れぬ犠牲  
誰が負う  
大野 勉

蝉が鳴く頭の中か  
樹の上か  
小林 久子

地域実習受け入れのお礼  
県立看護専門学校の一  
生が、「短歌の会（先月号に記事）」で実習出来たことに対するお礼状が、担当の山内奈摘先生から届きました、以下は、生徒さんのお礼状です。

福井いきいき会の皆様  
拝啓

連日の猛暑でございすが、お変わりなくお過ごしでしょうか。先日は福井いきいき会駅前よろず茶屋の会に参加させて頂きありがとうございました。皆様があたたかく迎えてくださり、普段馴染みのない短歌に触れることができました。皆様の思いや考え、経験が三十一文字に上手に込められており、新たな発見がありました。ここで得た経験を生かし、これからの生活を豊かなものにして行きたいです。暑さ厳しき折から皆様どうぞご自愛ください。

令和七年七月七日  
福井県立看護専門学校一年  
岩本 今西 園地、河邊 南野  
敬具

た。以上のような講演で、輪が、小さな手がかりと、年輪年代法などの科学的な方法で、六百年も昔の建築物の建設時期を明らかにした調査研究は、見事なものだと感じました。今回の講演を聞かれた方や、この講演概要を読まれた方は、また丸岡城に行ってみたいと思われすることでしょう。

（文責 吉岡 芳夫）

リレー随筆  
出会いとわかれ、徒然に  
澤村 玲子

生きることに。それは多くに出会うこと。多くと別れること。その繰り返し。時に繋がりながら人生は成る。数年ぶりに記憶をふり返る。

私の多くの別れの中の究極は、母との別れである。我々強い母は腰痛に苦しみなながらも、病院での受診を遠ざけ続けた。いよいよ歩行にも影響が及ぶようになり、ほかの症状も出て、叔母の说得で福岡県の久留米医大でようやく受診。余命一年数ヶ月のステージ末期の癌と診断。余儀なく入院。当時は完全看護ではなく付添いが必要で、その役目は私しかないなかった。私は休学手続きをして、私は



澤村 玲子氏

母の闘病の日々に小さな力を尽くした。手術の施しよを母に母に、新薬も含め担当医師らによる熱心な治療の日々が続いた。しかし母の病状の進行は容赦なく、衰弱はどんどん進んだ。首の向きを変えざるも、足の曲げ伸ばしも自力でできることは失われ、私の介助が必要だった。栄養を吸収できない母の身体は、終盤お腹だけがボンボンの浮腫状態。顔、手、足は骨に皮がかるうじてくっついていて、そのうなであつた。声を出す力もすっかり落ちて、目玉だけが母と通じ合える唯一のコミュニケーションであつた。そんな状態でも十六歳の私を見守る母の目を感じ、私は感謝と安心を得て嬉しかった。

深夜の回診で当直医師から午前三時前後、ますます呼吸が聞き取れなくなるの油断なく少しでもおかしようにと指示を受けた。三つの寒い夜だった。温もりはない母の手を、私は両手

で少しでも暖かくしよう握り続けた。午前三時頃、当直でなく担当医が来てしばらくの様子を見ていた。そして母の臨終を私に告げた。看護婦さんが「お父さんに連絡してあるから午前十一時には着くからね」と言いつくした。医師の臨終です。父が十時頃着くと聞いたことはホッとした。

母と再び二人だけの病室で、父が来る時間まで母の手を温めていようと、細いその手を少し持ち上げた時、静まりかえった病室にボキッという音がした。それは母の手首がまるで工作品のよう部が壊れるときの音のようだった。そして私は、ああ母はすべてを消耗し尽くしたのだと思つた。十六歳の私の感覚に、母の死のリアルが伝わった。あの感覚は八十路の記憶に鮮明である。親しい人との別れの都度、母の記憶を通して、故人との別れを大切な最後の時として敬意深く見送っている。母の身体を通して教えられた死の現実の感覚は、一つ確かさに触れた尊い別れであつた。

次に多くの出会いの中の一つである。その出会いはメディアア媒体で三十六歳の私を確かな現世から来世へ

のヘパスポートに近い決意をもたらしした。一九八一年（昭和五十六年）四月に、女子パウロ会のシスター白井詔子さんの招きで、マザー・テラサが初来日したことである。シスター白井さんは一九七六年（昭和四十二年）近代映画協会のスタッフとして、カルカッタで「マザー・テレサとその世界」の映画撮影に臨んだ。その縁で発来日の機会を作り、そのおかげで信仰の世界に無縁な私にも、人生で大切な日をもたらししてくれた。

信仰ではない人道にかかわることは、私の中でいつも大事なテーマであり続けている。しかし現実の様々な状況は、私に現実での実現に遠い距離で経過して、現在に至っている。一九八一年、日本でのマザー・テレサを、メディアア媒体とは言え、他国でないこの日本で会う機会を得て、限りない勇氣と現世を終え、来世の自分のへ希望を持つことが出来た。その想いを強くいただいて余生を終えれば、再び人として来世を生きられると信じて止まない。

出会いも別れも素晴らし。良きも悪しきも、それとても、皆素晴らしいと思つて臨めば、皆面白い。人生晩年の域にかかる今、面白がつて生きて、満腹顔で終

えたい。幸せ不幸も皆ひとり、ひとりにあるのだと思っている。

ますます面白くなってきた  
生成AI

吉岡 芳夫

AIに七十歳以上の高齢者の生成AIに対する関心はと聞くと、それなりにあるが利用に結びついていない。使い方を教えてくれる人はいないなどで、期待感はあるものの、「慎重」と言える状態だという。

私が主宰しているサークルのチャレンジパソコンでは、八十歳を超えた方でも、生成AIを楽しんでいる。短い単語をいくつか書き込むだけで、作詞作曲し、歌ってくれる。短い言葉を書き込んで絵を描かせる生成AIでは、出来上がった絵を見て驚き、もつと新しい絵を描かせようと考える。考えも良い方法である。

さて、生成AIが爆発的に広がったのはチャットGPTというAIが発表されてからである。何かを質問するとすぐ答えてくれるAIである。八月のパソコン教室では、これを使って、エッセイを作る課題に取り組んでもらった。エッセイを作るネタともいうべき出